次回は、R8年10月20日火曜日の発行です。

週間漁海況情報　2026年第39号

令和8年10月13日発行

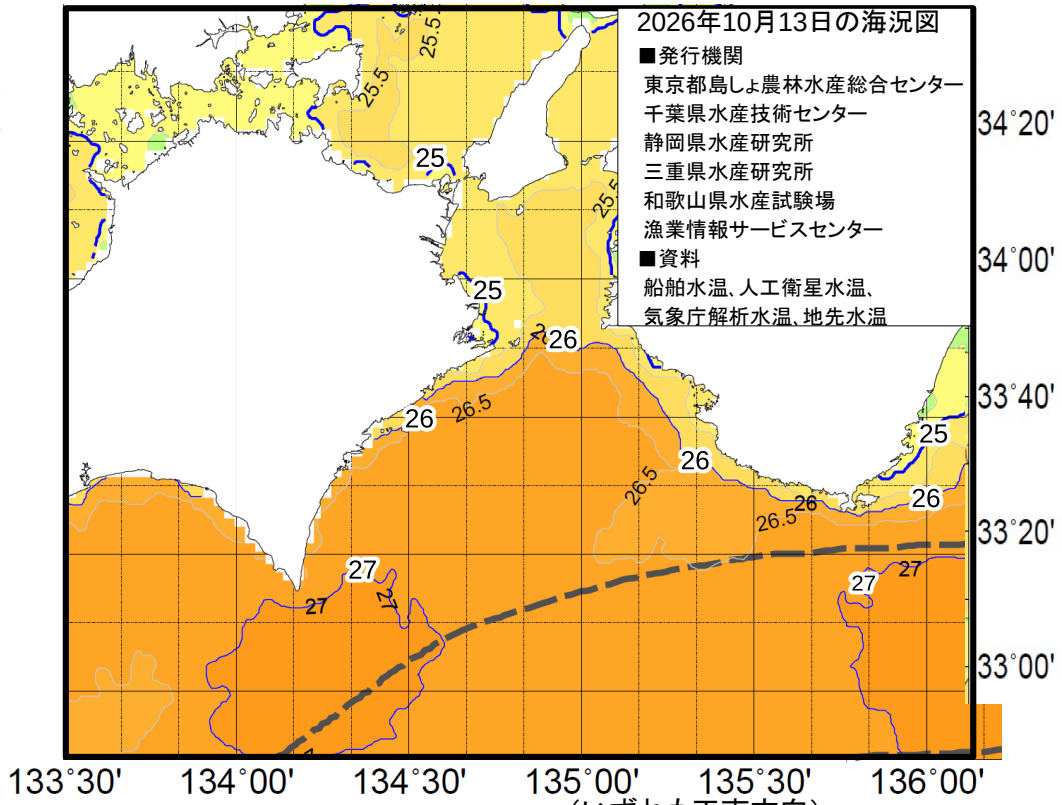
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖35マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は25～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～25、紀伊水道で24～25、海部沿岸で25～26℃台となっている。

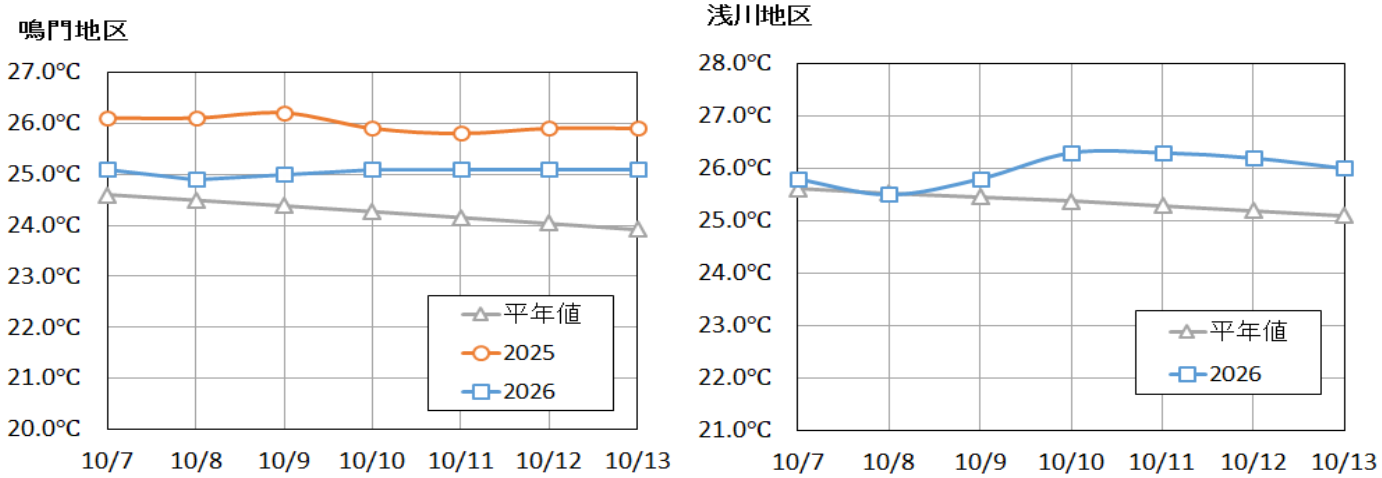


※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）
　室戸岬沖　接岸：～25NM　やや離岸：25～45NM　離岸：45～65NM　著しく離岸：65NM～
　潮岬沖　　接岸：～26NM　やや離岸：26～56NM　離岸：56～86NM　著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温（10月7日～10月13日）

鳴門地区の水温は、24.9～25.1℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、25.5～26.3℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、0.6～1.2℃だった。



※水温の高低　平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
　高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上
※平　年　値　1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（10月14日～10月20日）

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況（10月5日～10月11日）

１．紀伊水道（標本漁協：４）
船びき網では、シラスが増えて72.6ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、サワラが大きく減って1.1ﾄﾝ、あまだい類が増えて0.5ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、クマエビが減って1.9ﾄﾝ、ハモが大きく減って中主体に0.7ﾄﾝ、
タチウオが減って0.6ﾄﾝ、コウイカが小主体に0.4ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、カンパチが0.5ﾄﾝ水揚げされた。

２．海部沿岸（標本漁協：４）
釣りでは、シイラが大きく減って大主体に0.4ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	49	シラス	72,630	1,482		↗
	延縄	42	サワラ	1,104	26		↘↘
		44	あまだい類	458	10		↗
	底びき網	21	クマエビ	1,874	89		↘
		21	ハモ	688	33	中主体	↘↘
		20	タチウオ	628	31		↘
		21	コウイカ	358	17	小主体	→
	小型定置網	13	カンパチ	483	37		→
海部沿岸	釣り	6	シイラ	399	67	大主体	↘↘

※ 前週比　200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘